

## 令和6年度 能都中学校の教育について

### 1. 教育目標

より良い人間関係を築き、創造性豊かにたくましく前に進もうとする生徒の育成

### 2. つけたい力

- (1) 一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力
- (2) 疑問を持ち、考え抜く力
- (3) 多様な人々とともに、目標に向けて協力する力

### 3. 学校経営ビジョン

#### (1) 子どもたちが安全・安心に学べる学校

- ① 学校教育全体を通して、生徒自ら危険を察知・回避する力を育成する。
  - ・地震の体験を元に、安全確保について生徒同士が話し合う機会を設定する。
- ② 生徒の変化を敏感に把握し、いじめ等を見逃さない。
  - ・毎朝、対面で声かけを行い、個々の生徒の様子を把握する。
- ③ 教職員の危機管理意識を磨き、実効性のある仕組みへと常に見直す。
  - ・安全・安心な教育環境の構築のため。現状に即した訓練実施やマニュアルの見直しを行う。

#### (2) 生徒の確かな学びを保障する学校

- ① 生徒一人一台端末を積極的に活用し、GIGAスクール構想の実現に努める。
  - ・積極的な授業実践と研修に取り組み、効果的な活用方法を模索する。
- ② 主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善を推進する。
  - ・学ぶことの楽しさを体得できる学習活動を工夫する
  - ・生きて働く知識・技能の習得を確かなものにする。
  - ・生徒の様子、変容を視点とした、研究授業を実施する。
- ③ 体験活動や総合的な学習の時間を活用して、教科横断的な学びを推進する。
  - ・地域の資源を生かした、海洋教育の工夫改善に取り組む。

#### (3) 教師の資質・能力向上への意識が高い学校

- ① ワークライフバランスを向上させ、子どもと向き合う時間の確保に努める。
  - ・校務支援システムを活用し業務の効率化を推進し、遅くとも午後8時までに退校する。
- ② 人権感覚を高め、指導力を高める研修を推進する。
  - ・学校生活の中での教師や生徒の言葉遣いに注意を払い、適切な言語環境を整える。
- ③ 日常的に共通理解やコミュニケーションを図る職場づくりを進める。
  - ・報告・協議事項は事前に起案し、校務支援システム等で周知する。

#### (4) 地域社会の一員として信頼される学校

- ① 学校公開や日々の教育活動についての情報発信を積極的に進める。
  - ・週1回以上、学校HPを更新する。
- ② 学校評価は焦点化した評価項目に絞り、改善の方向や方策を提示し公開する。
  - ・学校評価結果を学校HPで公開し、改善の為の具体的な取組を推進する。
- ③ 地域人材や施設を積極的に活用し、ふるさと教育の推進と郷土愛の醸成を図る。
  - ・各学年2回以上、地域人材を活用した授業を実施する。

### 4. 各種法令・規則・ガイドライン等の順守

### 5. 報告・連絡・相談の徹底

### 6. キーワード 「命」「学び」「目標」